

学校法人専修大学 2004年度（平16）予算

予算決定にあたり

学校法人専修大学の2004年度（平16）予算は、3月26日の理事会・評議会で決定された。

はじめに

大学を取り巻く諸情勢はご承知のとおり誠に厳しく、18才人口の減少、社会環境の急変、国際化、情報化、社会のIT化などへの対応が急務であります。

本学ではこのような環境を踏まえ、将来を見据えた本学独自の教育・研究理念の『社会知性(Socio-Intelligence)の開発』を21世紀のビジョンとして掲げました。

このビジョンのもと、

- ①社会的諸課題の解決に貢献する人材を育成するために、社会システムに関する専門性の高い教育・研究を目指すこと。
- ②複雑高度化した社会において、人間性を発想の原点として倫理観を持って諸課題に取り組むこと。

以上を基本姿勢として位置付けております。

このことを実現するために(1)実践性の重視(2)先進性の追求(3)国際性の拡充(4)開放性の実現という四つの視点から、画一性を排し、柔軟かつ独創的な工夫による施策を推進していかなければなりません。

専修大学においては、ネットワーク情報学部の設置、法科大学院の設置、文学部日本語日本文学科および人文学科の専攻化、大学院経済学研究科・商学研究科の神田校舎平日・夜間および土曜日の授業開始などはこのことを実践したものです。

今後、三大学の教育・研究環境の整備と機能強化に一層努めなければなりません。専修大学においては、学部の学科新設検討、大学院および専門職大学院の拡充、石巻専修大学および専修大学北海道短期大学においては、地域に根ざした大学づくりをそれぞれ推進していかなければなりません。

こうした中で、04年度（平16）は00年度（平12）以来、専修大学および石巻専修大学の学部入学定員における臨時定員分の段階的減少の最終年度に当たることもあって、主要な財源である学生生徒等納付金収入が減少し、収支の状況は、さらに厳しくなってきました。

「社会知性開発」のビジョンのもと

04年度予算編成に当たっては、特に大学の核である教育・研究に係る環境の整備に重きを置き、また、新規事業については、現在確定しているものについて、予算に計上し、検討段階のものについては必要最小限度の予算を計上しました。前述のとおり収入の面では、減少傾向が続いている厳しい状況にあり、各所管からの要求も詳細に点検し、あわせて既存の事業も厳しく見直し、諸経費の節減に努めました。財政面では厳しい運営になりますが、これらの諸課題は社会知性開発のビジョンのもと、大学運営を永続的に発展させるために必要なものと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

主な事業計画

04年度予算の編成に当たって考慮している専修大学、石巻専修大学および専修大学北海道短期大学の新たな事業計画は以下のとおりとなっている。

● 専修大学

1. 学生等支援施策事項

(1) 学生を基本にすえた大学づくり

① Web履修登録の実施

基本政策検討会議答申により提言された「 Semester制の拡充」の実現に向けた具体的取り組みとして、後期履修登録を可能とする「Web履修登録」を試験運用的に導入する。

② 中期留学プログラムの導入

学生がより柔軟に留学でき、また国際交流プログラムの一層の充実を図るため、従来の「長期交換留学プログラム」「春期留学プログラム」に加え、新規の留学プログラムを開設する。

③ 新入生用学習ハンドブック『学びの道具箱』の作成

新入生に対する初期導入教育の補完を目的に、学ぶ意欲を育成し大学生として習得すべきスキルを集約した学習ガイドブックを刊行し、04年度入学生に配布する。

(2) 社会知性の開発へのさらなる挑戦

① e-キャンパスの推進

基本政策検討会議答申により提言された「情報通信技術の活用と新たな教育研究システム」を推進する上で、大学全体を俯瞰し、総合的かつ戦略的に情報通信技術を活用するための事務機構として「e-キャンパス推進委員会」を設置し、推進する。（進展の状況により、必要な予算措置を講ずることとする）

② キャリア教育センターの設置

基本政策検討会議答申により提言された「キャリア教育の実施」を推進する上で、キャリア教育への全学的な取り組みを図る事務機構として「キャリア教育センター」の設置を検討している。（進展の状況により、必要な予算措置を講ずることとする。）

③ 高大連携の拡充

高大連携を通じて高等学校との相互理解を深め、今後の教育改革に結びつけるとともに、地域における存在感を高めるため、「高校生の受け入れ」「教科研修生の派遣」に加え、「大学セミナーの実施」「教員同士の交流」などを継続的に進める。

2. 施設設備等整備事項

① 教育研究用電子計算機システム更新（学術用無線LANの本格的導入により、ネットワーク利用環境の拡充を図る。）

② 神田2号館、生田7・8号館教室視聴覚設備

③ 図書館情報検索システム更新関連工事

④ 神田空調設備改修関連工事（年次計画、05年度（平17）が最終年度）

⑤ 神田自動火災報知設備更新

⑥ 神田非常用放送設備更新

⑦ 生田2号館受変電設備

⑧ 生田2号館地下1階共通学生実験室電気設備改修

⑨ 生田総合体育館更衣室・シャワー室空調設備改修

⑩ 生田5号館教育研究ネットワーク更新

⑪ 生田10号館（仮称）建設計画着手

3. 研究支援施策事項

① 大学院社会知性開発研究センターへの支援

② 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（国庫補助金）オープン・リサーチ・センター整備事業への支援

③ その他研究に必要な支援

※「21世紀COEプログラム」については、採択された場合、必要な予算措置を講ずることとする。

● 石巻専修大学

1. 学生等支援施策事項

① 新奨学生制度の制定

長引く景気低迷による家計急変学生を支援する経済支援奨学金や優秀な学生を確保するための新入生特別奨学金等を新設する。

② キャンパス情報システムの導入

休講、補講等の情報をパソコンや携帯電話により確認できるシステムを導入する。

③ 教学事務システム・就職システム・図書館システムの更新

学生サービスの向上と事務処理の効率を図るため、新たな機能を加えたシステムを導入する。

④雨天体育場の有効利用

雨天および冬期の体育実技授業や硬式野球部等の練習場として有効に活用する。

⑤教育研究用電子計算機システムの更新準備

ITおよび社会環境の変化に対応しうる柔軟性・拡張性を有するシステムの導入（平成17年度）に向け検討する。

2. 施設設備等整備事項

①学内LAN工事

②4号館北駐輪場増設及び屋根の設置

③東側通行口新設に伴う外周道路北側減速段差設置

④1・4号館女子洗面所の改修

⑤走査型電子顕微鏡購入

⑥実験用具・機器の購入

● 専修大学北海道短期大学

1. 学生等支援施策事項

①温室棟の有効利用

農業科学科、園芸緑地科の授業として、四季を通じて植物の成長過程を直接目にする
ことで、多目的に実習を行うことができる施設として、高い学習効果が期待できる。ま
た、地域の農業関係者（育苗研究）、福祉関係者（園芸福祉、療法）、一般市民等へ公
開し、地域社会との友好関係を推進する。

②奨学生制度の充実

近隣地域からの進学を促進するため、経済支援を目的とした奨学生制度（F、G）の学
年進行による奨学生採用者増

③留学生の受け入れ

地元美唄市と協力した中国留学生の積極的受け入れ

④教育用ネットワークシステムの更新

処理能力の向上とネットワークセキュリティの確保に配慮した情報処理教育のより
一層の充実

2. 施設設備等整備事項

①教育用ネットワークシステム情報線敷設工事（教室）

②教育用ネットワークシステム光配線工事（温室棟）

③ロータリー東側擁壁改修工事

④相馬記念会館屋上防水改修工事

⑤1号館ボイラー軟水器改修工事

⑥実習・測定機器の購入

学校法人専修大学 2004年度（平16）予算 **資金収支予算書** / **消費収支予算書** ※新規

ウインドウが立ち上がります。

【ニュース専修5月号4面】